

財別に見たASEANの貿易構造

中村 江里子 *Eriko Nakamura*

(財)国際貿易投資研究所 主任研究員

世界各地で自由貿易地域(FTA)の締結を目指す動きが広がっている。ここ数年はアジアにおいても急速にFTA締結に対する関心が高まり、2001年11月にはASEANと中国がFTA締結に向けて本格的協議の開始で合意した。しかし近年発展が著しい中国ではあるが、ASEANとの貿易をみると、密接な関係にあるとは言えない。ASEAN(注1)の対中輸出額は近年増加傾向にあるものの、中国向け輸出シェアは2000年に3.5%と、米国(20.4%)、日本(16.1%)に比してかなり低い。それでもFTAの検討を目指すからには、貿易面でのメリットが得られなければ意義は少ない。そこで、ASEAN側の視点から対中貿易の現状を財別に見た上で、優位性を持つ分野を検討する。

一般機械、電気機器で比較優位

ここではITIが作成した財別貿易マトリックス2000年版(財別貿易マトリックスについては、「ITI財別貿易マトリックスの開発」ITI季報、Autumn 2001参照)を元に、ASEANの貿易をみてみよう。まず貿易構造の特徴をとらえるため、顕示比較優位指数(Revealed Comparative Advantage Index: RCA指数)(注2)をみると、一般機械、電気機器において、タイ、マレーシア、フィリピンの3カ国が比較優位を持ち、特に電気機器におけるマレーシアとフィリピンの優位性は高いものとなっている(表1)。ま

たこの3カ国のうち、タイが合成繊維・同織物、衣類、フィリピンが衣類に競争力を持つほかは概してRCA指数は低く、この3カ国は似通った財に比較優位を持ち、国ごとの特徴がとらえづらい。これに対してインドネシアは鉱物性燃料、合成繊維・同織物、衣類に比較的高い比較優位を持ち、貿易においては他の3カ国と異なる競争力を持つ構造となっている。

アジアNIESとASEANを比較すると、シンガポールが一般機械、電気機器に競争力が集中しているのを除き、香港、韓国、台湾ではASEANに比して競争力のある分野が広く、特に韓国は合成繊維・同織物をはじめとして、鉄鋼、一般機械、電気機器、輸送機器と比較優位を持つ分野が多い。アジアNIESの中でも香港の衣類、韓国、台湾の合成繊維・同織物、シンガポールの電気機器と、特に優位性が高い財が国・地域ごとにばらついており、ASEANと異なりアジアNIES各国・地域の貿易構造が異なることがわかる。

比較優位の強弱が明確なASEANの対米貿易

次にASEANの主要な輸出相手国である米国、日本とのRCA指数をみると、対米貿易では、電気機器(マレーシア、フィリピン、タイ)のほか、合成繊維・同織物、衣類(インドネシア、フィリピン、タイ)、一般機械(マレーシア)など、ASEANが強い分野は対世界貿易と

ほぼ同じであるものの、対世界貿易で持っていた比較優位性に比して、対米貿易ではより優位性が高くなっている（表2）。当然のことながら、これらの財に比較優位が集中することにより他の財は相対的に優位性が下がることとなり、ASEANの対米貿易は比較優位の強い財と弱い財に2分化された形となっている。比較優位の強い財、すなわち電気機器はASEANが米国向けIT部品の一大生産地であることを反映しているものであり（本号所載の青木健『ASEAN・中国のFTA創設合意と日本の対応』中の44～47ページ「米国IT不況と東アジア経済」参照）、合成繊維類・衣類はASEANの安価な労働力を利用した、従来型の輸出商品である。

一方、対日貿易をみると、電気機器（マレーシア、フィリピン）、一般機械（フィリピン）、鉱物性燃料、合成繊維・同織物（いずれもインドネシア）などが高い比較優位を持つ。また、インドネシアは鉱物性燃料と合成繊維・同織物に、フィリピンが一般機械と電気機器に比較優位が集中しているが、一方でタイとマレーシアは対米貿易に比べて比較優位を持つ財がばらばらしている。

対中貿易で格段に落ちる合成繊維・衣料の比較優位性

ASEANの対中貿易のRCA指数をみると、ここでも対世界輸出でASEANが持っていた一般機械、電気機器における比較優位がほぼそのまま対中貿易にも反映されている（表3）。しかし対世界輸出に比べて、それらの競争力は格段に落ちる一方、比較的高い競争力を有していた合成繊維・同織物、衣類の競争力はほとんどなくなっている。これは中国が繊維・衣類の一大

輸出基地であり、ASEANからの輸出余地が少ないことを反映しているものの、一方でアジアNIESの同分野の対中輸出をみると、韓国、香港、台湾が比較優位を持っており、中国とアジアNIESの間にはこの分野における「棲み分け」が進んでいるが、ASEANとの間には競合関係にあるものと推察される。一般機械、電気機器におけるASEANの比較優位が落ちているのも、中国が同分野の「競争相手」であることを示唆している。この分野ではアジアNIES各国・地域も、シンガポールの一般機械など一部を除いて対中貿易では比較優位を持っていない。

工業用中間財の分野ではタイの化学品の比較優位が高いものの、化学品、鉄鋼などではアジアNIESの比較優位が高く、ASEANが対中貿易のこの分野で食い込むのは難しい。

エネルギー貿易でASEAN優位

ASEANが持つ比較優位性は対中貿易ではあまり発揮されないものの、エネルギー関連の貿易ではASEANの姿がみえてくる。ASEANの鉱物性燃料の貿易は、インドネシアを除き世界貿易および対米、対日貿易ではほとんど比較優位を持たないが、対中貿易に限ってみるとインドネシアの比較優位が非常に高くなるほか、タイ、マレーシア、フィリピンともに比較優位が高くなり、特徴の一つとなっている。

類似した貿易構造からの脱却

このように、ASEANの対中貿易は対米、対日貿易に比して、比較優位では特に強い財も少なく、また各国の対中貿易構造も似通ったものとなっている。ASEANが中国とのFTAを実現させた後、貿易面のメリットをより享受するためには、まず、エネルギー貿易以外にも対中貿

易で食い込める分野をつくることが第一であろう。そのためには、ASEANが一様に同じ分野に比較優位を持たせるのではなく、狭い範囲であれ、独自の「強い」産業を育成し、自国の貿易に競争力を持たせることが必要である。

(注1) 以下、ASEANのデータはタイ、マレーシア、フィリピン、インドネシアの4カ国とする。

(注2) 顕示比較優位指数(RCA指数)とは、世界の平均的な輸出比率に比較したときの当該国の輸出

比率の大きさを財ごとに示すものであり、各国が世界的にみてどのような財に比較優位があるものを表す。計算式は下記の通り。

$$\text{RCA 指数} = \left[\left(\frac{\text{A国のi財の輸出額}}{\text{A国の総輸出額}} \right) / \left(\frac{\text{i財の世界輸出額}}{\text{世界総輸出額}} \right) \right] \times 100$$

本稿では上記計算式を利用し、例えばA国の対中国貿易のRCA指数を以下のように算出した。

$$\text{対中国貿易のRCA指数} = \left[\left(\frac{\text{A国のi財の対中輸出額}}{\text{A国の対中輸出額}} \right) / \left(\frac{\text{中国のi財の輸入額}}{\text{中国の総輸入額}} \right) \right] \times 100$$

表1 東アジアのRCA指数(2000年)

輸出国・地域 商品分類	中国	NIES	香港	韓国	シンガポール	台湾	ASEAN (4)	インドネシア	マレーシア	フィリピン	タイ
鉱物性燃料	31	35	2	57	78	12	110	268	101	14	32
化学品	65	73	65	81	72	73	60	65	57	13	87
合成繊維・同織物	173	257	182	394	36	408	171	385	92	25	173
衣類	397	147	343	81	40	54	134	225	42	198	148
鉄鋼	106	93	48	142	22	163	38	39	32	9	62
機械	74	119	93	122	147	127	104	37	132	158	93
一般機械	68	123	67	109	174	168	110	39	148	127	108
電気機器	110	180	162	161	237	173	179	62	229	322	135
輸送機器	29	41	5	112	13	31	14	7	6	15	30
精密機器	89	99	192	33	77	70	41	14	49	36	56
その他	158	87	145	64	45	76	111	166	72	58	147

(注) RCA指数については(注2)参照。

商品分類については「ITI財別貿易マトリックスの開発」(ITI季報No.45、Autumn 2001)参照。

(資料) ITI財別貿易マトリックス(2000年)

表2 対米国、対日本貿易のRCA指数（2000年）

	対米貿易						対日貿易					
	中国	ASEAN (4)	インド ネシア	マレー シア	フィリ ピン	タイ	中国	ASEAN (4)	インド ネシア	マレー シア	フィリ ピン	タイ
鉱物性燃料	11	17	53	19	1	5	23	122	257	114	10	4
化学品	100	59	103	63	9	69	64	68	44	64	26	130
合成繊維・同織物	63	149	307	64	107	207	139	190	363	124	20	120
衣類	124	224	436	73	324	233	531	26	24	10	30	46
鉄鋼	135	42	80	19	7	79	169	54	39	26	32	124
機械	73	111	38	154	130	82	78	117	35	157	213	130
一般機械	85	132	34	215	99	100	50	125	32	169	259	129
電気機器	108	210	78	264	298	146	108	166	53	230	287	181
輸送機器	20	3	4	2	3	4	38	20	12	4	51	34
精密機器	102	57	29	70	53	59	95	38	10	47	26	72
その他	216	110	206	37	70	185	110	88	100	54	64	128

(注)(資料)表1と同じ。

表3 対中国貿易のRCA指数（2000年）

輸出国・地域 商品分類	NIES	香港	韓国	シンガ ポール	台湾	ASEAN (4)	インド ネシア	マレー シア	フィリ ピン	タイ
	鉱物性燃料	34	5	118	138	5	236	437	129	129
化学品	117	98	159	120	245	106	95	85	27	159
合成繊維・同織物	150	143	210	19	164	74	96	59	4	85
衣類	203	267	58	2	39	6	8	2	34	3
鉄鋼	85	69	158	19	122	30	8	35	8	52
機械	105	111	72	141	101	71	7	103	130	85
一般機械	90	86	74	196	85	86	4	112	112	133
電気機器	125	134	88	128	124	76	10	122	177	69
輸送機器	31	24	30	52	129	10	6	13	24	6
精密機器	116	151	19	72	21	30	1	39	28	50
その他	95	106	85	33	34	122	175	116	114	80

(注)(資料)表1と同じ。